

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 61057474
PUBLICATION DATE : 24-03-86

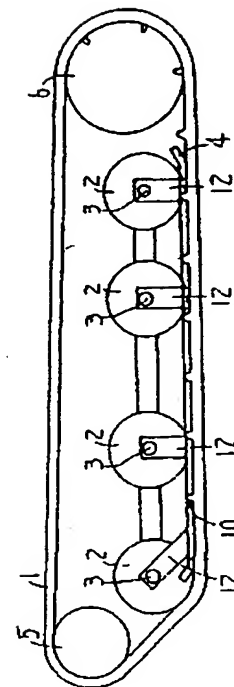
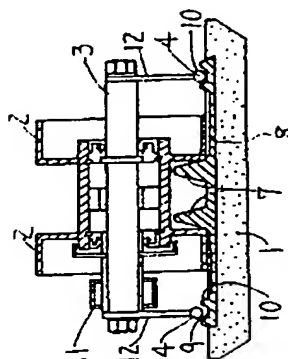
APPLICATION DATE : 27-08-84
APPLICATION NUMBER : 59178849

APPLICANT : ISEKI & CO LTD;

INVENTOR : SATOJI HISAYUKI;

INT.CL. : B62D 55/14

TITLE : CRAWLER



ABSTRACT : PURPOSE: To improve groundability in a crawler as well as to prevent any drop in tractive force or the like from occurring, by installing a guide body, which comes into sliding contact with the vicinity of an inner surface at the side of the crawler and checks its upward motion, in a shaft end part of a track roller guiding grounding travel of the crawler as being rotated.

CONSTITUTION: An endless beltlike crawler 1 is rolled on both driving and driven wheels 5 and 6. A platelike mandrel 8, making a pair of projections 7 jutting out to a central part is internally installed in the crawler 1, and a guide receiving part 10 having a groove 9 is projected out at both ends of the mandrel 8. On the other hand, a support rod 11 is installed in one side of the crawler 1, and plural fulcrum shafts 3 are installed in this support rod, while each of two-wheel solid-form track rollers 2 astride these projection parts 7 are rotatably supported on these fulcrum shafts 3. And, each arm 12 is hung down from both ends of each fulcrum shaft 3, and a guide body 4 to be slidably engaged with the groove 9 is installed in a lower end of the arm 12. With this constitution, in the case when the crawler 1 is tilted down to one side or deformed to the upside, the groove 9 performs slide motion as its upward motion is checked by the guide body 4.

COPYRIGHT: (C)1986,JPO&Japio

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-57474

⑬ Int.Cl.⁴

B 62 D 55/14

識別記号

庁内整理番号

2123-3D

⑭ 公開 昭和61年(1986)3月24日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑮ 発明の名称 クローラ

⑯ 特 願 昭59-178849

⑰ 出 願 昭59(1984)8月27日

⑱ 発 明 者 里 路 久 幸 愛媛県伊予郡砥部町八倉1番地 井関農機株式会社技術部
内

⑲ 出 願 人 井関農機株式会社 松山市馬木町700番地

明 細 書

1. 発明の名称

クローラ

2. 特許請求の範囲

回転しながらクローラ(1)の接地走行を案内する
転輪(2)の軸(3)端部に、該クローラ(1)の側部内面近
傍に摺接して上動を抑止するガイド体(4)を設けて
なるクローラ。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

この発明はクローラに関し、コンバイン、ハー
ベスト、その他運搬車等に利用する。

発明が解決しようとする問題点

クローラを転輪によって接地面に保持しながら
走行するとき、この接地部の転輪の外側端部が上
方に屈曲し易い状態となり、クローラが沈下し易
く、機体重量の支持力が減少し、けん引力が減少
し易い。

問題を解決するための手段

この発明は、回転しながらクローラ(1)の接地走

行を案内する転輪(2)の軸(3)端部に、該クローラ(1)
の側部内面近傍に摺接して上動を抑止するガイド
体(4)を設けてなるクローラの構成とする。

発明の作用、および効果

クローラ(1)は転輪(2)によって接地案内されると
共に、大きく沈下したり傾斜するときなどの場合
は、両側部内面近傍はガイド体(4)に摺接しながら
走行することになるため、この両側部近傍はガイ
ド体(4)で上動を抑止されて上方に屈曲することが
なく、従ってクローラの接地面は地面に効果的に
作用し、沈下の増大、或いはけん引力の減少等を
生じし難い。

又、転輪(2)の軸(3)端部を利用してガイド体(4)を
設けたことにより、このガイド体(4)を支持するた
めの特別の支持体を設ける必要がなく、各転輪(2)
間や転輪軸(3)間間隔広く保ち、この間に付着する
泥土やわら屑等の除去等も容易である。

実施例

なお図例において、連動装置に連動する一側内
側の駆動輪(5)と、他側内側の従動輪(6)とに巻掛し

BEST AVAILABLE COPY

た無端帯状のクローラ(1)を設け、このクローラ(1)には、左右方向の中央部に突起部(7)を内周面から突出させた板状の芯金(8)を帯状方向に配列内装し、さらにこれら芯金(8)の両端部には該帯状方向に溝(9)を有したガイド受部(10)を該クローラ(1)の内周面からそれぞれ突出させる。

走行車台に支持された該クローラ(1)の帯状方向の一侧部に沿って長い角形状の支持杆(11)を設け、この支持杆(11)の前後両端部、及び適宜間隔の中間部には、当該支持杆(11)を貫通して一側方向に長く突出した支軸(3)を各々設け、これらの支軸(3)には、前記一对の突起部(7)を跨いた状態で二輪一体状の転輪(2)を回転自在に支承させ、さらにこれらの支軸(3)の各々両端部には、垂下した板状のフレーム(12)を各々設けて固着し、これら両側のフレーム(12)の下端部には、前記ガイド受部(10)の溝(9)に各々摺動自在に係合する棒状のガイド体(4)を各々設けて結合する。

駆動輪(5)の回転によってクローラ(1)は連動回転されると共に接地部を各転輪(2)によって押圧さ

れながら走行すが、同時にクローラ(1)の接地部に回動してきたガイド受部(10)の溝(9)は、このクローラ(1)が一侧に傾斜したり、クローラ(1)両側部が上側へ歪むような場合には、ガイド体(4)によって上動を抑止されながら摺動する。

4. 図面の簡単な説明

図はこの発明の一実施例を示すもので、第1図は側面図、第2図は断面せる一部の正面図である。

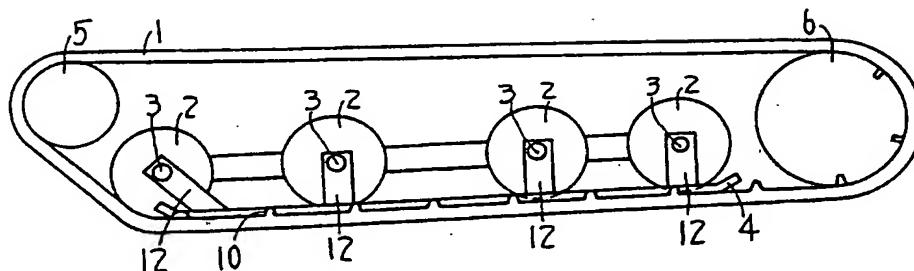
図中符号(1)はクローラ、(2)は転輪、(3)は軸、(4)はガイド体を示す。

特許出願人の名称

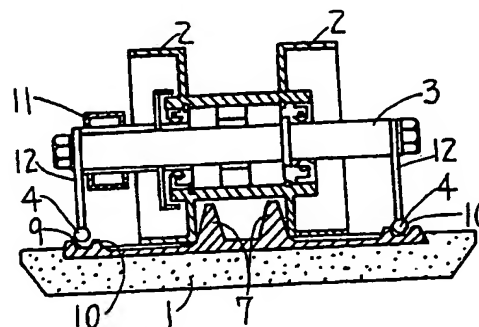
井関農機株式会社

代表者 井 関 昌 孝

第1図



第2図



BEST AVAILABLE COPY